

No.2903

2018-2019年度

会 長 上野山 栄作

幹 事 嶋田 崇

R広報委員長 菅原 佳典

担当：菅原委員長、丸山委員



～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp



2018-2019年度クラブ方針

Take Action and Enjoy!

行動を起こそう！そして楽しもう！



次回のお知らせ

平成31年3月28日 第2905回

・会員卓話：福原 陽司 君

「金融と経済」

・ソング：「四つのテスト」

本日のプログラム

平成31年3月14日 第2904回

・外部卓話：濱崎 算悟 氏 (MJT)

「MJTとミャンマーについて」

・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告 (第2903回例会)

開催日 平成31年3月7日(木)

点 鐘 (上野山(栄)会長)

ゲストの紹介 (石垣(泰)親睦活動委員長)

ゲスト：金子 巧 様 (株CAMPUS有田川)



CAMPUS 有田川のメンバー

(左から)Ben Henryさんと、Adam Baranさんも例会へ出席してくれました。

今月の誕生・結婚祝

(石垣(泰)親睦活動委員長)

会員誕生：上野山(捷)君、児島君、木本君、北畑君

石垣(泰)君

配偶者誕生：菅原知子さん、嶋田一代さん

結婚記念：嶋田(崇)君、成川(守)君



3月のお誕生日の皆さん

(左から)北畑君、木本君、児島君、上野山(捷)君、石垣(泰)君です。お誕生日おめでとございます。

会長の時間 (上野山(栄)会長)

「公共下水道」

今日は地域外部卓話ということでCAMPUS有田川の金子巧さん、Benさん、Adamさんにお越しいただきました。後ほど卓話をよろしく願いします。

3月に入りました。今日はこの後、3時から文化福祉センターの時計の寄贈式典が開催されます。雨も気になりますが、どうか皆さんのご参加、よろしくお願いします。

さて、3月のロータリー月間は「水と衛生月間」です。そこで、地元のし尿および生活雑排水の処理について改めて考えてみましょう。

有田市と有田川町は有田周辺広域圏事務組合によりクリーンセンターを運営し、し尿および生活雑排水に対応しています。平成30年の生活排水処理基本計画によると、生活排水処理率に於いて有田市・有田川町を比べてみますと、有田市が27.7% 有田川町が54.7%となります。このポイント差は、有田市は合併処理系の浄化槽と一部に農業集落排水以外は全てし尿のみで現在は認められていないみなし浄化槽(67%)とし尿収集(6%)である事。有田川町には人口密度の高い地域に公共下水道が引かれている点と合併浄化槽が多い点、農業集落排水の整備が行われていることが挙げられます。一方で有田川町に於いては処理率が高いのですが、し尿収集が未だ27%もあり、エリアによっての差を感じます。公共下水道(有田川町)の処理人口普及率は37%ほどありますが、接続率は59%とつなげるのにつないでいない家庭が多くあります。一旦浄化槽を入れてしまうと公共下水道につなぎ直すのも費用がかさむからだと考えられます。



同様に和歌山県内の公共下水道の普及率も低く、平成29年度現在、県内平均は27.3%と、全国の都道府県で下から2番目です。全国平均は78.8%。最高の東京都は99.5%にも達しています。近畿6府県で最高の大阪府は95.8%、和歌山の次に低い奈良でも79.9%あります。ちなみに全国で一番低いのは徳島の18.1%です。何れにしてもこの問題は費用が大幅にかさむことであり、現在の地方自治体の財政状況を考えると、なかなか改善は望めないでしょう。

近年、田舎暮らしや地方に憧れる若者も増えていきます。若者の移住促進や海外の観光客誘致を考える時、この部分はクリアしないと難しい現状があると思います。また、若者の地域離れの理由の中にも、生活環境を考えた時、水洗化は一つの目安になることは間違いないと思います。衛生面もですが、地域の人口減少を考える時、この問題も避けては通れない課題なのかもしれません。

幹事報告

(嶋田(崇)幹事)

1. 地区より2019年決議審議会「決議案の提出」についての文書→脇村情報・研修委員長
2. 60周年記念時計塔贈呈式典→本日15時過ぎ、有田市文化福祉センター前
3. 第9回定例理事会の開催→本日例会終了後、例会場にて

委員会報告

*R広報委員会(菅原委員長)

ガバナ一月信冬号をお配りしています。

*社会青少年奉仕委員会(川口委員長)

職業紹介事業の案内

*60周年中期ビジョン策定部会(中元副部長)

中期ビジョン策定のためのアンケートの回収を行っています。本日お忘れの方は次週3/14(木)にお持ちください。3/14(木)を締切とさせていただきます。

*和歌山県白浜オフミ会の報告(成川(守)君)

3/2(土)JRIC全国ロータリーアンインターネット協議会の「和歌山県白浜オフミ(オフライン・ミーティング)」が開催されました。全国各地から22名のご参加をいただき、交友を深め楽しいひと時を過ごしました。当クラブからは松村君、橋爪(誠)君、川口君にもご参加いただきました。



出席報告

(木本例会運営委員長)

本日の会員数31名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数24名

(出席規定免除会員7名)

82.76%

2/21 90.00

MU:成川(守)君、岩本君

ニコニコ箱の報告

(松村SAA)

上野山(栄)君:本日の創立60周年記念事業 有田市文化福祉センター時計塔寄贈式典へのご参加、よろしくお願ひ致します。キャンパス有田川の金子さん、ベンさん、アダムさん、ようこそ有田RCへお越し下さいました。

嶋田(崇)君:金子様、卓話有難うございます。60周年事業、時計塔の贈呈式、宜しくお願ひします。

児島君:金子巧様、卓話楽しみです。

成川(守)君:例会欠席が続きました。すみません。

北畑君:本日は金子巧氏の卓話、よろしくお願ひします。

橋本君:金子巧様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

中元君:金子巧様、ようこそ有田RCへ。

井上君:金子様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

上野山(捷)君:金子巧様、卓話楽しみにしていました。

木本君:金子巧様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

川口君:金子巧様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話、宜しくお願ひ致します。勉強させていただきます。

菅原君:金子様、卓話宜しくお願ひ致します。

嶋田(ひ)君:金子様、本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

橋爪(誠)君:金子さん、アダムスさん、ベンさん、ようこそ有田RCへ。本日よりお願ひします。

松村君:金子様、卓話楽しみです。

卓話

「クラフトビールでまちづくり」

NOMCRAFT BREWERY

金子 巧 様 (CAMPS有田川)

こんにちは、金子巧です。現在、和歌山県有田川町にある旧保育所をDIYリノベーションにて NOMCRAFT BREWERYという醸造所の立ち上げに関わっております。先日、醸造に必要な大きなタンクが運び込まれ、醸造免許取得を今か今かと待っているところです。



私は、愛知県出身の者です。さて、どうしてここ有田川町にてこの夢のようなプロジェクトに携わることになっているのでしょうか？自分でも驚くような話ですが、そのストーリーを“旅・英語・行動力”の三つのキーワードから話していきたいと思います。

1) 旅

私は、愛知県の教育大学に通っていました。です。同期の友人は皆現職の先生をしています。しかし、当時の私は何か違和感を感じていました。「このまま教員となって卒業後を過ごして、僕の人生は楽しいのだろうか…」今まで安定したレールに沿った人生を歩んできた私が、自らの道を選ぶ瞬間が訪れ、旅に出ることにしました。私はバックパッカーとして旅に出ました。1年間自分の直感のまま、流れるまま、思うがままに旅しました。ラオスでは象使いとして、インドではヨーガに生き、ネパールではヒマラヤ山脈の峠越えをしました。自ら選んだ道は、思いの外私の生きるスタイルに合っていました。一人で旅していた身ですから、常に新たな出会いが待っていました。特に、自分と全く違った価値観を持つ外国人バックパッカーとの交流の楽しさにどっぷりはまっていた。

2) 英語

旅先で一つ気づいたことがありました。「世界の共通語は英語」ということ。そして、「英語はこれからの自分の人生を楽しむために必須だ」と。私は帰国後すぐにフィリピンへ語学留学に行きました。一日8時間マンツーマンレッスンという超スパルタ式学習で自信のついた私は、そのままオーストラリア、カナダにて海外生活をすることにしました。

カナダでの生活を終え、一度日本へ帰る前にアメリカのポートランドを訪れました。理由は“全米一住みたい街”と評判があり、そんな人を魅了する街がクラフトビールの都とも呼ばれているからでした。クラフトビールの醸造所を巡り、そこで飲んだビールや、何よりそこで味わった素敵な場の雰囲気は今でも忘れられません。

ポートランド旅行中のある日、The Side Yard Farmという畑併設のレストランに興味を持ち、ボランティアをさせてもらっていました。その時、運命的のような出会いがありました。なんと、有田川町の人々が訪れていたのです。偶然見る日本人で、少し興奮気味で話をさせてもらい、「日本に帰国した際には遊びにおいでよ。」と言ってもらい、帰国後すぐに有田川町に向かうことにしました。



3) 行動力:フットワーク

私は、今まで自分の興味あることにすぐに行動することを心がけてきました。自分のやりたいことは、常に移り変わり、今やりたいことは10年後、自分のやりたいことになっていないかもしれません。ですので、思い立って少し考

えて「それがいい」と思えるならその道を歩んできました。今回の、有田川町でのクラフトビールの話もそうです。見ず知らずの有田川町へ向かい、はじめは通訳者として有田川町の方々とベンさん(ポートランド出身の醸造家で、今回の「クラフトビールでまちづくりプロジェクト」の発起人)の間に入っていました。次第にこのプロジェクトの全貌がぼんやり見え、とても魅力的だと感じました。町の人から誘われた時は、即答で「はい、やります」と答えており、ひと月後にはオーストラリアメルボルンへ醸造研修に向かいました。その後、有田川町へ戻り、田殿保育所のリノベーション工事をスタートしたのです。

私たちNOMCRAFT BREWINGが叶えたいことは、「コミュニティづくり」です。一つは“人が集まるコミュニティ”。もう一つは、“自分のやりたいことを追求できるコミュニティ”を作ることです。

1) 人が集まるコミュニティ

私は、世界各地でクラフトビールのもとに人々が集まるシーンを幾度となく見てきました。これは私だけではなく、NOMCRAFTメンバー全員が共通に信じるクラフトビールの可能性なのです。クラフトビールのもとには、地域や地元の人はもちろん、観光客や移住者、親子連れも集まります。そして、彼らはその場で出会う人たちとともに笑い、盃を交わし、そこに愉快的なコミュニティが生まれます。子供だって楽しめるイベントやスペースを提供しようと目論んでいます(醸造所の一角はもともとお遊戯室で、そこをパブリックスペースとして活用予定。)、どの世代の方にも楽しめるコミュニティを提供します。

2) 自分のやりたいことを追求できるコミュニティ

私が海外で見てきた醸造者は皆、突然訪れるにもかかわらず、ものすごくオープンで幸せそうでした。幸せとは「自分のやりたいことができる」ことだと思います。自分のやりたいことを追求するということは、時として様々なリスクが伴うことがあります。私たちは、そんな人たちに自信を持ってもらえるような“姿”になりたいと思います。また、地元のフルーツを使ったり、例えば、デザイナーやこんなイベントをしたいという方とは、大いにコラボレーションしたいとも思っています。私たちは、どんな形であれ「自分のやりたいことに挑戦する」人々をサポートしたいです。それは、私たち自身も今回のプロジェクトでの多くの人からサポートを受け、その恩返し、またはペイフォワードがしたいということもあります。



最後にもう一つ、私は、NOMCRAFT BREWINGでは醸造者として働くこととなりますが、同時にPR担当としても活動していきます。PRという立場として、ミッションがあります。それは、有田川町の魅力を世界に伝えるということです。

町の魅力というのは、「そこでしか味わえないもの」「そこでしか会えない人」「そこでしか見れない景色」そして「そこでしか体感できない時間」だと思います。世界を旅していた頃、私の心を動かした“出会いや食、景色、時間”は、ローカルの人には他愛もないようなものでも、私にとっては特別なものでした。有田川町にもきっと私たちが気づかないような魅力がもっともっと眠っています。私は、NOMCRAFT BREWINGのPR担当をしますが、それは自分たちのビールのことだけではなく、「ここでしか味わえない町の魅力」をどんどん世界に伝えていくことです。それが、必ず有田川町のまちづくりに繋がると信じています。

閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)

～宇治川貴史様からのお便り～

第2900回例会(2/7(木)開催)で卓話にお越しいただいた宇治川貴史様よりメールを頂戴しました。

『先日は、貴クラブの例会にお招きくださり、ありがとうございました。ロータリー平和フェローの宇治川です。』

先日うかがった際に頂戴した有田RCのみなさまから真備町へのご寄付は、2/16(土)真備町での地域イベントで、サンドイッチと温かいけんちん汁の炊き出し費用に活用させていただきました。当日は300名以上の方が集まったのですが、北風が強くとっても寒かったので、大変喜ばれました。当日の写真を添付させていただきます。(私はカメラマンなので写っておりません。)本当にありがとうございました。

どうかみなさまにもお礼をお伝えください。またお会いできる日を楽しみにしています。』



創立60周年記念事業

有田市文化福祉センター前時計塔寄贈式典

平成31年3月7日(木) 午後3時～

創立60周年を記念して、有田市文化福祉センター前の時計塔を寄贈し、除幕式が行われました。

また、有田市長と教育委員会より有田ロータリークラブに感謝状が贈られました。

<会長挨拶>

有田ロータリークラブ 本年度、会長として、諸先輩方もいらっしゃる中ではございますが、一言ご挨拶をさせていただきます。

本日はお足元の悪い中、望月市長様、田中教育長様を始めとし、市の皆様にご臨席頂き誠に有難うございます。私共、有田ロータリークラブは昭和34年に創立し、先達のゆるまざる尽力により、長きにわたり奉仕の理想を胸に数々の事業に取り組み、本年60年を迎えることができました。私は本年で57歳となりますので、ほぼ私自身の人生にも重なるころがあり、一口に60年と申ししましても、その長い歴史と時間を改めて感じるところです。本日も例会が行われたのですが、本日で創立以来2903回と例会の回数を重ねております。その長い歴史の中でこの時計塔は創立30周年に寄贈し、30年もの間有田市の玄関口で時を刻んで来たのだと考えると、無くてはならない有田市の顔となっていたのです。有田ロータリークラブも時計同様に有田市になくてはならない職業人の団体としての役割を担ってまいりました。以前の時計本体は、奇しくも先日故障し、節目の60周年に30年の歴史を終えました。このタイミングで有るからこそ、本日、新たな時計を寄贈することが出来たのです。新たに生まれ変わり、「この有田市とともに時を刻み続けたい」と願う時計塔の意思表示のように思えてなりません。つまりは、この時計には有田ロータリークラブの「有田市民と共に時を刻み、活動していく」という志の象徴であると思います。

私たちが有田ロータリークラブはこれからも気持ちを新たに、地域に根づいて活動する会員たちが、地元や世界に持続可能な変化をもたらすために行動して参ります。どうか今後とも有田ロータリークラブに対し、ご指導ご協力の程、宜しく願いいたします。

平成31年3月7日

有田ロータリークラブ

2018-2019年度 会長 上野山栄作



時計塔の寄贈式典と除幕式の様子

